

HIV RESPONSE SUSTAINABILITY ROADMAP PART A (COMPANION GUIDE)



この新しいコンパニオンガイドは各国向け分析資料と持続可能性評価ツールを含んでいる。

FEATURE STORY

2030 年以降の HIV 対策の持続可能性に向けた計画策定 UNAIDS

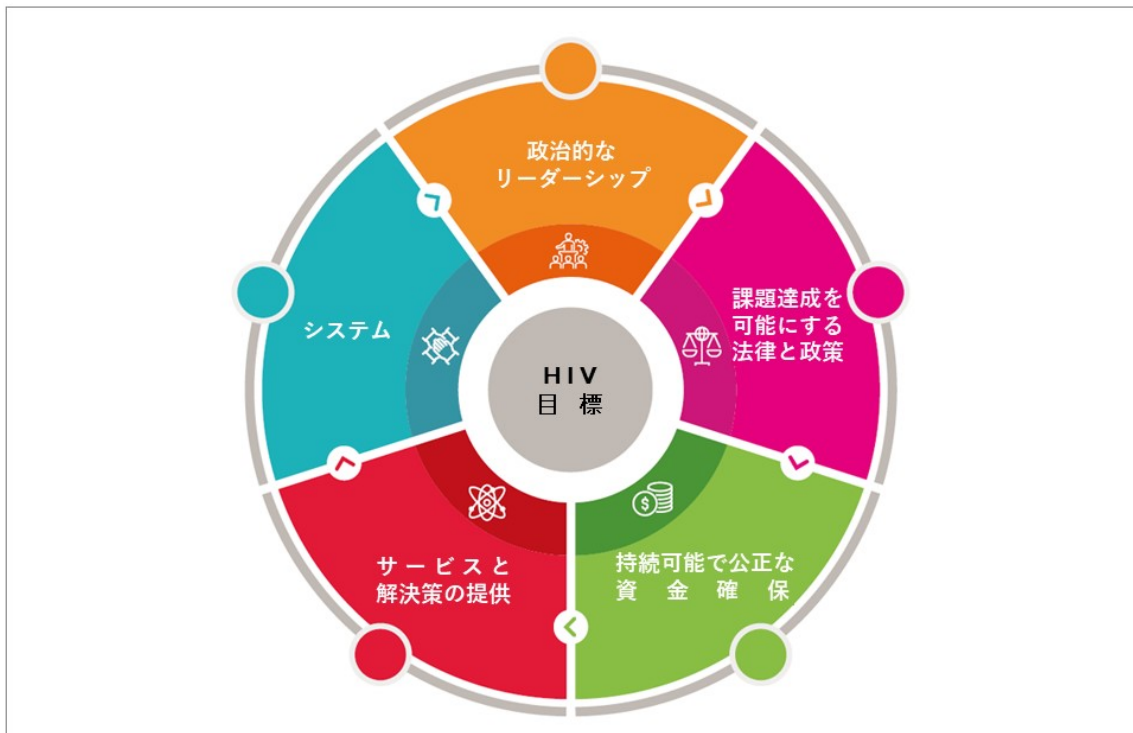
2024 年 4 月 30 日

生涯にわたって治療が必要な HIV 陽性者の数はかつてない規模に達し（2022 年現在 3900 万人）、さらに今後も増加が予想される。長期的な資金確保は不可欠なのだ。

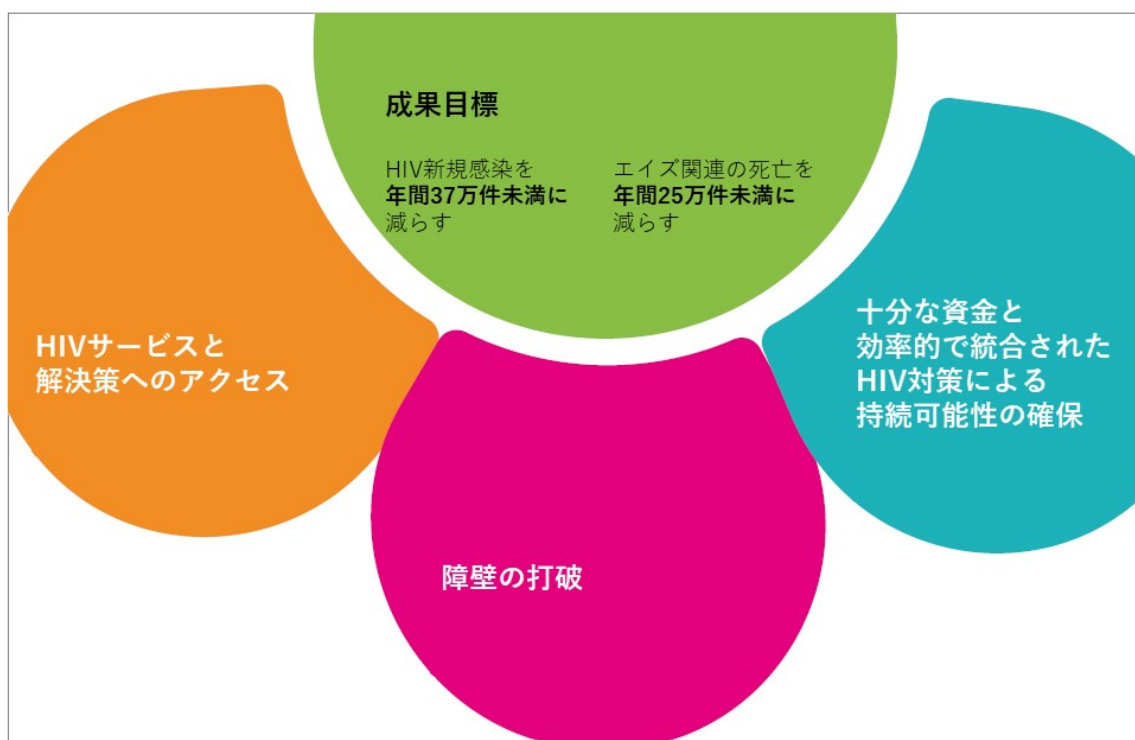
一方で、HIV 対策資金の確保は厳しさを増している。低・中所得国で 2022 年に利用可能な資金は 208 億ドルで、2021 年より 2.6%減っていた。2025 年までの推定年間必要額 293 億ドルには遠く及ばない。さらに UNAIDS 推計では、男性とセックスをする男性、セックスワーカー、注射薬物使用者など、HIV の影響を大きく受けているキーポピュレーションのための HIV 予防対策資金は、2022 年段階で必要額より 90%も不足している。

2030 年までに公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結を果たすという目標に各国が取り組む中で、これまでの成果を後退させずに、HIV の影響を大きく受けている人たちへの支援を強化し、将来的な HIV 対策の持続に向けた計画を策定することも、急務となっている。

2030 年以降も HIV 対策を続けられるよう、政策とプログラム、システムの変革を含む HIV 持続可能性枠組みを UNAIDS が策定したのもこのためだ。HIV 対策の持続可能性確保に向け、UNAIDS は長期の計画策定に取り組む関係者すべてを支援する。



持続可能性枠組みの5つの構成要素。持続可能性評価では各国が各領域のサブドメインとプログラム要素を評価していく。



各国は、2025年ターゲットとその実現に必要な資金、さらに2030年までのエイズ終結というターゲットの達成も考慮に入れる。

「公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結を2030年までに達成するという野心的目標に向けて国際社会が進む中で、達成した成果を維持するための議論も浮上しています」とUNAIDSのウィニー・ビヤニマ事務局長はいう。「HIV対策の長期的な持続可能性を確保するにはパラダイムシフトが必要です。変革に向けた道がいまから始まるのです」

すでに HIV 対策持続可能性入門で概説した枠組みが実現できるよう、UNAIDS は、各国向けに分析資料や評価ツールを含むコンパニオンガイド（手引き）を新たに発表した。各国およびパートナー機関によるロードマップ作成を助け、持続可能性に向けた道を進むための支援ツールとなるものだ。

コンパニオンガイドは、柔軟に選択できる手法を段階的に示し、各国の実情に合わせた枠組みを作る助けになる。洞察力に満ちた実用的ツールとして、ロードマップ策定プロセスの羅針盤となるものだ。

「持続可能性ロードマップの策定は、HIV 対策が持続するための鍵です。複雑な長期的課題を乗り越える力を各国に与えてくれます」と UNAIDS のアンジェリ・アシュレカー副事務局長（プログラム担当）は語っている。

国別の分析に向けた資料のパッケージには、詳細なデータとグラフィックス、重要な財政・マクロ経済指標、広範な医療システム分析、および追加の定性情報が含まれている。各国の流行の特徴を踏まえ、より広範な経済・医療システムの状況に合わせて計画を策定するうえで不可欠な持続可能性をめぐる対話を促す役割を果たすものでもある。

持続可能性評価ツールもロードマップの中心となる。このツールによって、利害関係者は政治面、構造面、資金、プログラムなど多領域にわたるリスクを把握し、対応できるようになる。また、HIV 対策の強化と 2030 年以降の継続的な改善に向けた新しい戦略を見いだすことも可能になる。

「持続可能性評価ツールは、直感的なインターフェイスを通じて各国の HIV 対策が持続可能かどうかを理解するうえで節目となる目標を設定し、そこに至る方法を体系化するのに役立ちます」と UNAIDS のクリスティーン・ステグリング副事務局長（政策・権利擁護・知識部門担当）は語る。

2030 年以降も持続可能性を確保していくには、多数のセクターにまたがる強い政治指導力、および HIV 陽性者や社会的に弱い立場にあるキーポピュレーションの人たちの積極的な関与が必要となる。国内資金と国際資金の確保がともに大切であり、同時に感染症の拡大や経済、政治、社会的状況の変化に応じて復元力を発揮できる柔軟さも求められる。

UNAIDS は各国およびパートナーとなる組織と協力して、HIV 陽性者および HIV の影響を受けているすべての人たちの生活に必要な HIV サービスを継続的に確保し、人権を守ることで、その人たちが生きやすくなるよう、新たな持続可能性の枠組みの実現に努めていく。

日本語仮訳：公益財団法人エイズ予防財団